

公1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

ア 図書を選定

1. 学校図書館向き図書を選定……………【選定部】…(1)
小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施した。2018年度は、4/9, 5/14, 5/28, 6/11, 6/25, 7/9, 7/23, 8/27, 9/10, 9/25, 10/9, 10/22, 11/12, 11/26, 12/10, 1/15, 1/28, 2/12, 2/25, 3/11, 3/25 (21回)に行った。結果は機関紙『学校図書館速報版』で公表した。

イ 読書調査

1. 「学校読書調査」の実施……………【調査部】…(2)
青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる「第64回学校読書調査」を毎日新聞社と共催で実施した。この調査は、全国から抽出した小学生2,730名(31校)・中学生2,714名(30校)・高校生2,976名(28校)の8,420人を対象に6月に実施し、結果は機関誌『学校図書館』11月号(817号)で公表した。
2. 「学校図書館調査」の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる「2018年度学校図書館調査」を実施した。この調査は、全国の小・中・高等学校から3%を無作為抽出した、1,147校を対象に6月に実施し、結果は機関誌『学校図書館』11月号(817号)で公表した。
3. 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館整備推進会議と共催して、全国の市区町村教育委員会に対して、平成30年度の学校図書館図書の整備費約220億円を予算化するよう要請するとともに、各自治体に対する予算化状況のアンケートを実施した。調査時期は2018年5月、973教育委員会(回収率55.9%)から回答を得たものを機関誌『学校図書館』2019年4月号(822号)で公表した。
4. 特別支援学校における学校図書館の現状に関する調査の実施……………【研究調査部】…(2)
特別支援学校の学校図書館の在り方や改善の方策、要望に応える支援などの研究を進める基礎資料とするため、特別支援学校の学校図書館の現状について経年調査を実施する予定であったが実施できなかった。

ウ 機関誌発行

1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行……………【編集部】…(5)
機関誌『学校図書館』(月刊)および『学校図書館速報版』(月2回)を定期的に刊行した。『学校図書館』は、4月号(810号)より親しみやすい表紙と読みやすい紙面に刷新し、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を中心に掲載した。『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書、学校図書館メディアに関する情報等を掲載した。

エ 各種コンクール

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第64回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共催で実施した。全国の小・中・高等学校や海外の日本人学校の25,594校から4,146,941編の応募があった。2019年2月8日に経団連会館で表彰式を行った。
 - ①「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」
全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、「第65回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」18点を選定した。
2. 読書感想画中央コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)

読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことを目的とした「第30回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共催で、山口県・九州地区を除く38都道府県で実施した。6,089校650,204点の応募があった。2019年2月22日に如水会館で表彰式を行った。

①「読書感想画中央コンクール 指定図書」

全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第30回読書感想画中央コンクール 指定図書」13点を選定した。

オ 優良図書の普及

1. 「日本絵本賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)

絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に「第24回日本絵本賞」、を毎日新聞社と共催で授賞した。日本絵本賞大賞には『もぐらはすごい』アヤ井アキコ/作(アリス館)が選ばれた。また、日本絵本賞には『大根はエライ』(福音館書店)と『たぬきの花よめ道中』(岩崎書店)、日本絵本賞翻訳絵本賞には『あめだま』(ブロンズ新社)、日本絵本賞読者賞【山田養蜂場賞】には『あめだま』(ブロンズ新社)がそれぞれ選ばれた。2019年3月27日に毎日ホールで表彰式を行った。

①「日本絵本賞読者賞候補絵本」「日本絵本賞最終候補絵本」の選定

全国SLA絵本委員により、読者が投票する「日本絵本賞読者賞候補絵本」24点および「日本絵本賞最終候補絵本」30点を選定した。

②「絵本週間」の実施

優れた絵本文化の発展と、学校や家庭への絵本読書の定着を目指して「絵本週間」を3/27~4/9の間実施した。

2. 「夏休みの本(緑陰図書)」の選定……………【プロジェクト】…(1)

全国SLAが委嘱する選定委員により、夏休み中に子どもたちにぜひ読んでほしい図書として、「第51回夏休みの本(緑陰図書)」40点を選定した。

カ SLBAの図書の選定

1. 「学校図書館図書整備協会(SLBA)選定図書」……………【プロジェクト】…(1)

全国SLAの選定委員により、学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会(以下「SLBA」という)」の委嘱を受けて「SLBA選定図書」を選定した。

キ 学校図書館出版賞

1. 「学校図書館賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)

学校図書館に関する運動、論文、実践の3分野での優れた実績を顕彰する「第48回学校図書館賞」及び重賞の松村金治賞を袖ヶ浦市教育委員会に授賞した。また、奨励賞を小野薫氏に授賞した。2018年6月1日に中野サンプラザで表彰式を行った。引き続き「第49回学校図書館賞」を募集した。

2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)

学校図書館向き図書の優良な出版企画に対して出版社を表彰することで学校図書館向き図書の出版の振興を目的とした「第20回学校図書館出版賞」は、株式会社フレーベル館、株式会社文溪堂、株式会社理論社が選ばれた。2018年6月1日に中野サンプラザで表彰式を行った。

公2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業

《1. 研究・研修》

1. 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施……………【研究調査部】…(1)

司書教諭や学校司書等を対象にした「学校図書館実践講座」を4/28, 5/26, 6/23, 7/28, 9/29, 10/27, 11/17, 12/15, 1/26, 2/23, 3/16の11回開催した。また、「学校司書研修講座」は、4/21, 5/12, 6/9, 7/14, 8/17, 8/18, 8/22, 8/23, 8/24, 8/25, 9/8, 10/13, 11/10, 12/8, 1/19, 2/16, 3/23, 3/30の18回開催した。

2. 「学校図書館フォーラム」の開催……………【研究調査部】…(2)
図書館総合展の主催・共催フォーラムにて、「いま求められる学校司書の役割や資質とは？」をテーマに10月30日にパシフィコ横浜で学校図書館セミナー2018の名称で開催した。
3. 学校司書資格及び研修制度の研究……………【研究調査部】…(2)
学校司書の資質向上を図るための研修制度のあり方に関する研究成果を「『学校司書のモデルカリキュラム』講義指針」と「学校図書館に関する職務分担表」として公表した。
- ☆ 4. 「全国学校図書館研究大会」の開催……………【研究調査部】…(2)
「第41回全国学校図書館研究大会(富山・高岡大会)」を8月8日、9日、10日の3日間、富山市・高岡市において「これからの学校図書館をデザインする」をテーマに開催した。全大会や138の分科会、視察が行われ、約1,300名が参加して熱心に学び交流を深めた。

《2. 資料・情報提供》

1. 写真ニュース『としょかん通信』の刊行……………【編集部】…(5)
学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』(小学生版・中高校生版の2種)を刊行した。
2. 各県SLAのWebサイト作成……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAのWebサイト上に各県SLAのWebサイトを開設し、県SLAの情報提供、研究会・研修会の募集、県SLA組織内の連絡等の利用に供した。
3. 『各県交換情報のWeb版』の作成と活用……………【プロジェクト】…(3)
各県交換情報をWeb版にして、引き続き各県SLAの情報の交換を行った。
4. 各県SLA・各地区SLAへの訪問の実施……………【プロジェクト】…(3)
今年度は大阪府と大阪市の組織訪問を行い、最新情報の交換をした。
- ☆ 5. 各県SLA作成の刊行物の監修・作成協力等の実施……………【プロジェクト】…(3)
今年は特に要請がなかった。
6. Webサイトメールマガジンの活用……………【プロジェクト】…(5)
メールマガジンによる情報発信も定着し、会員層も徐々に増加している。
7. 研究成果の刊行普及啓発……………【プロジェクト】…(4)
学校司書の仕事内容などを簡潔にまとめて、その役割や配置促進と活性化を促すための啓発書『「学校司書の役割」配置促進と活性化』(仮題)の刊行はできなかった。
8. 啓発図書の刊行……………【編集部】…(5)
 - ① 『心に届く読み聞かせ：プロが教える読み方の基本』(仮題)の刊行
アナウンサーの目から見た読み聞かせの基本を紹介する単行本の編集を進めた。
 - ② 『総合的な学習の指導法』の刊行
総合的な学習の指導法に関する新たなカリキュラムに対応した単行本の編集を進めた。
 - ③ 『司書教諭講習資料』の刊行
司書教諭講習資料に代わるものとして8月に『学校図書館基本資料集』を刊行した。
 - ④ 『中・高校生向け読書案内』(仮題)の刊行
機関誌に連載している「青春の本棚」を基に編集を進めた。
 - ⑤ 『リテラチャーサークル』(仮題)の刊行
読書会の指導の参考となる資料であるが、出版を見送ることにした。
 - ⑥ 『学校図書館活用術』(仮題)の刊行
機関誌で連載したものを加筆して、編集作業を進めている。

《3. 学校図書館の充実発展》

1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及……………【プロジェクト】…(3)
学校図書館に関する研究を深めるため、学校図書館活動推進委員や各県SLAの協力を得て、機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及活動の一環として、公共図書館の定期購読が若干増加した。
2. 各県SLA事務局長会議の開催……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAの事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県SLA事務局長会議を2019年2月7日(木)に開催した。
3. 全国SLA研究協力員制度の検討及び委嘱……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAが行う研究活動や研究成果の普及を図る「全国SLA研究協力員制度」について検討

し、各県S L Aから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受けて委嘱する予定であったが、推薦がなく、委嘱できなかった。

4. 各県S L Aへの研究助成……………【プロジェクト】…(3)
各県S L Aの研究活動を支援するために研究助成を行った。

《4. 研究視察》

1. 国内・海外学校図書館研究視察……………【プロジェクト】…(3)
本年度は実施しなかった。

《5. 事業の活性化》

1. 全国S L A学校図書館スーパーバイザー制度の拡充……………【プロジェクト】…(1)
全国S L A学校図書館スーパーバイザーによる指導・助言により各地域や各校の学校図書館の活性化を図った。
2. 公益社団法人の財政再建……………【プロジェクト】…(6)
新事業の展開と赤字事業の削減等により、公益社団法人として財政再建の基盤整備を進め、赤字額の縮減ができた。
3. 学校図書館報告会の開催……………【プロジェクト】…(6)
特別会員を招き、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する報告会を「学校図書館講演会」の名称に戻して、2019年3月8日に文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課 青少年教育室 室長補佐 塚田昌毅氏を招いて「地域学習推進課が目指す学校図書館政策」のテーマで開催した。
4. 学校図書館研究資料室の整備充実……………【プロジェクト】…(6)
学校図書館に関する資料の整備充実、コンピュータによる蔵書の管理と活用等を進めた。

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。